

サポートブック なら



ふりがな

名前

ニックネーム

このサポートブックには、私の個性や特徴、関わる時のヒントが書いてあります。私が困っている時や混乱している時に参考にしてください。

(やまおり)



プロフィール



ふりがな				顔写真
名前				
生年月日	年	月	日	
性別	男・女	血液型		
身長	cm	体重	kg	
所属(学校など)				
診断名(障がい名)				
手帳	<input type="checkbox"/> 療育手帳 (A ・ B) <input type="checkbox"/> 精神保健福祉手帳 ()級 <input type="checkbox"/> 身体障害者福祉手帳 (種 級) <input type="checkbox"/> 手帳なし			
	住所			
	TEL			
	本人との連絡方法	【携帯】		
【メール】				



今日(月 日)の様子



体温	℃ ()
睡眠	十分・不十分 ()
食事	食べた・食べていない ()
排便	有・無 ()

配慮する点(特に気をつけてほしいこと)

その他

② - ()

(やまおり)



連絡先(保護者など)



優先順位①

名前: ()

【 自宅 】

【 携帯 】

【携帯メール】

住所:

優先順位②

名前: ()

【 自宅 】

【 携帯 】

住所:

優先順位③

名前: ()

【 自宅 】

【 携帯 】

住所:

③ - ()



緊急連絡先(医療機関など)



病院名： _____

科： _____

主治医： _____



所在地： _____



連絡先(学校・園・施設など)



名称： _____

学年・組： _____

担任名： _____



所在地： _____



行政関係



市町村役場 _____ 課

担当者 ① _____ ② _____ ③ _____



所在地： _____

④ - ()



私の特徴・自己紹介・診断名について



⑤ - ()

(やまおり)



健

康



【身体上の留意点】

【健康状態（発作・アレルギー など）】

【その他】

（やまおり）



服

薬



	時 間	種 類
朝		
昼		
夜		
<u>薬の管理</u>		
<u>薬の飲み方</u>		
<u>その他</u>		



【室内】

【屋外】

【注意点・配慮点】

……(やまおり)……



【小】 配慮点



【大】 配慮点





食 事 ・ お や つ



食べてはいけないもの(アレルギーなど)

すきなもの

きれいなもの

配慮すること

- はし・スプーン・フォークを使って一人で食べることができます。
- コップを持って水を飲むことができます。
- 食事を自分で作ることができます。
- 食事の手伝いをすることができます。

※食後の投棄(あり・なし)



外 出 ・ 移 動



徒 歩 (配慮していること)

- 手をつないで歩いてください。
- 飛び出すことがあります。
- 一人で安全に歩けます。
- 信号は理解できません。

車・タクシー (配慮していること)

- 座る位置が決まっています。
- シートベルトはできません。

電 車 ・ バ ス (配慮していること)

- 切符は買えません。
- 車内で大きな声を出すことがあります。
- 車内に好きな場所があります。
- 必ず座りたいです。

そ の 他 (配慮していること)

(やまおり)



コミュニケーション ①



【 相手 → 本人 】

Large empty rectangular box for writing or drawing.



コミュニケーション ②



【 本人 → 相手 】

Large empty rectangular box for writing or drawing.

...
やまおり
...



こだわりやパニック



【きっかけ】

【様子】

【対応】

※1枚で足りない場合は、この用紙を足していきましょう。



着

替

え



着る

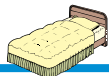
〔配慮していること〕

脱ぐ

〔配慮していること〕

プール・シャワー・入浴

〔配慮していること〕



就寝・起床・洗面・歯磨き



就寝	〔配慮していること〕
起床	〔配慮していること〕
洗面・歯磨き	〔配慮していること〕

（やまおり）

m e m o



【作成にあたって】

- サポートブックには大切な個人の情報が載っています。作成の最終チェック・管理は保護者が行いましょう。
 - サポートブックは、初めて子どもと接する人に対して、子どものことを知ってもらい、安全に楽しく過ごしてもらうための支援ツールです。持って行く場所や状況に応じて、内容や量を調節しましょう。
 - 子どもの成長に合わせて内容は随時書き直していきましょう。作ったものを残すことで、子どもの成長の過程がわかります。
 - 書かれてある内容が、子どもにとってわかりやすい表現で書かれてあるか、子どもがいやな思いをすることのない内容であるか、チェックしておくことも大切です。
- ※このサポートブックは、ひょうご発達障害者支援センター「クローバー」作成のサポートブック等を参考に作成いたしました。
- ※このサポートブックの商用への転用はご遠慮下さい。